

平成19年6月30日時点における先進医療の実績報告について

平成19年度（平成18年7月1日～平成19年6月30日）実績報告より

① 先進医療技術数（平成19年6月30日現在）※1	117種類
② 医療機関数（平成19年6月30日現在）	373医療機関
③ 全患者数	14,179人
④ 総金額	約98億4千万円
⑤ 保険外併用療養費の総額（保険診療分）※2	約49億4千万円
⑥ 先進医療の総額（患者の自己負担分）	約49億円
⑦ 1入院全医療費のうち先進医療分の割合（⑥ / ④）	49.8%

※1 先進医療技術数については、健康保険法の一部を改正する法律（平成18年法律第83号）において、平成18年10月1日より統合された旧高度先進医療において行われていた技術を含めた技術数である。

※2 健康保険法の一部を改正する法律（平成18年法律第83号）において、平成18年10月1日より、特定療養費は保険外併用療養費に改変されている。

< 過去5年間の実績 >

	技術数※1	医療機関数	全患者数	総金額	保険外併用 療養費の総 額 (保険診療 分)	先進医療及 び旧高度先 進医療の総 額 (患者の 自己負担分)	1入院全医療 費のうち先進 医療及び旧高 度先進医療分 の割合
平成15年5月31日時点における高度先進医療 の実績 平成14年6月1日～平成15年5月31日	70種類	98医療機関	2,292人	約23億円	約16億円	約7億円	31.9%
平成16年5月31日時点における高度先進医療 の実績 平成15年6月1日～平成16年5月31日	71種類	90医療機関	2,199人	約22億円	約11億円	約11億円	48.8%
平成17年5月31日時点における高度先進医療 の実績 平成16年6月1日～平成17年5月31日	109種類	126医療機関	3,082人	約43億円	約20億円	約23億円	54.3%
平成18年6月30日時点における先進医療の実 績 平成17年10月1日～平成18年6月30 日	6種類	52医療機関	395人	約2億3千万 円	約1億7千万 円	約6千万円	25.2%
平成18年6月30日時点における高度先進医療 の実績 平成17年6月1日～平成18年6月30日	101種類	113医療機関	4,166人	約66億円	約29億円	約37億円	56.1%
平成19年6月30日時点における先進医療の実 績 平成18年7月1日～平成19年6月30日	117種類	373医療機関	14,179人	約98億4千 万円	約49億4千 万円	約49億円	49.8%

※1 平成19年の実績における技術数については、健康保険法の一部を改正する法律(平成18年法律第83号)において、平成18年10月1日より統合された高度先進医療と先進医療を併せた形で標記している。

平成19年6月30日時点における各先進医療技術に係る費用

平成19年度（平成18年7月1日～平成19年6月30日）

整理 番号	技術名	導入時期	①総金額 (円)	②保険外併用 療養費総額 (円)	平均 入院期間
1	高周波切除器を用いた子宮筋腫核出術(子宮筋腫に係るものに限る。)	平17. 10. 1	51,402,467	37,109,068	11.7
2	自動吻合器を用いた直腸粘膜脱又は内痔核手術(PPH)(直腸粘膜脱又は内痔核に係るものに限る。)	平17. 11. 1	252,845,359	112,111,048	4.6
3	画像支援ナビゲーションによる膝靭帯再建手術(前十字靭帯損傷又は後十字靭帯損傷に係るものに限る。)	平17. 12. 1	12,619,781	10,945,781	12.7
4	凍結保存同種組織を用いた外科治療(心臓弁又は血管を用いるものであって、組織の凍結保存及び外科治療を同一施設内で行うものに限る。)	平18. 1. 1	307,355,107	277,018,281	67.1
5	強度変調放射線治療(限局性の固形悪性腫瘍に係るものに限る。)	平18. 5. 1	412,782,805	199,054,465	19.6
6	胎児心超音波検査(産科スクリーニング胎児超音波検査において心疾患が強く疑われる症例に係るものに限る。)	平18. 6. 1	41,691,571	39,447,271	4.2
7	内視鏡下小切開泌尿器腫瘍手術(泌尿生殖器腫瘍(腎腫瘍、前立腺がん又は副腎腫瘍)に係るものに限る。)	平18. 7. 1	140,789,083	129,849,963	16.7
8	画像支援ナビゲーションによる内視鏡下鼻内副鼻腔手術(慢性副鼻腔炎、副鼻腔のう胞又は鼻副鼻腔良性腫瘍に係るものに限る。)	平18. 8. 1	16,050,599	10,443,599	9.1
9	顔面骨又は頭蓋骨の親血的移動術(顔面骨又は頭蓋骨の先天奇形に係るものに限る。)	昭60. 11. 1	2,073,240	1,753,240	32.0
10	インプラント義歯(顎骨の過度の吸収により、従来の可撤性義歯では咀嚼機能の回復が困難なものに限る。)	昭60. 11. 1	404,434,818	81,563,094	4.1
11	顎顔面補綴(腫瘍手術、外傷及び炎症その他の原因により顔面領域に生じた広範囲の実質欠損に係るものに限る。)	昭61. 10. 1	418,674	21,020	
12	培養細胞による先天性代謝異常診断(胎児又は新生児に係るものに限る。)	昭61. 12. 1	1,852,482	1,752,682	26.0
13	顎関節症の補綴学的治療(顎関節症(顎関節内障、下顎頭の著しい変形及び顎関節円板の断裂を除く。)に係るものに限る。)	昭62. 3. 1	715,230	47,630	
14	溶血性貧血症の病因解析及び遺伝子解析診断法(先天性溶血性貧血に係るものに限る。)	平 3. 4. 1	9,600		
15	経皮的埋め込み電極を用いた機能的電子刺激療法(神経の障害による運動麻痺又は骨・関節手術後の筋萎縮に係るものに限る。)	平 4. 11. 1	1,820,482	1,749,082	23.0
16	人工括約筋を用いた尿失禁の治療	平 5. 5. 1			
17	人工中耳(慢性中耳炎その他の原因による難聴に係るものに限る。)	平 5. 5. 1			
18	実物大臓器立体モデルによる手術計画(頭蓋顎顔面領域の骨変形、欠損若しくは骨折又は骨盤、四肢骨若しくは脊椎の骨格に変形を伴う疾患に係るものに限る。)	平 5. 11. 1	113,459,601	88,080,527	24.3
19	歯周組織再生誘導法(歯周疾患による根分岐部病変又は垂直性骨欠損に係るものに限る。)	平 6. 7. 1	6,668,412	2,023,724	0.0
20	接着ブリッジによる欠損補綴並びに動揺歯固定(少数歯欠損又は動揺歯に係るものに限る。)	平 7. 2. 1	1,343,580	19,380	
21	光学印象採得による陶材歯冠修復法(歯冠部齲蝕の修復に係るものに限る。)	平 7. 7. 1	293,620	48,820	
22	性腺機能不全の早期診断法(小陰茎、停留睾丸、尿道下裂、半陰陽、原発性無月経、生理不順、多毛又は性染色体異常に係るものに限る。)	平 7. 12. 1	144,720	4,720	
23	経皮的レーザー椎間板切除術(内視鏡下によるものを含み、椎間板ヘルニアに係るものに限る。)	平 8. 7. 1	5,800,630	2,482,330	4.2
24	エックス線透視下非親血的唾石摘出術(唾石症(唾石と導管壁との癒着がないものに限る。))に係るものに限る。)	平 8. 8. 1	652,940	148,940	
25	造血器腫瘍細胞における薬剤耐性遺伝子産物P糖蛋白の測定(白血病、悪性リンパ腫又は多発性骨髄腫その他の造血器悪性腫瘍に係るものに限る。)	平 8. 12. 1	5,599,600	5,569,600	61.0
26	スキンドファイバー法による悪性高熱症診断法(手術が予定されている者で、悪性高熱症が強く疑われる者に係るものに限る。)	平 9. 7. 1			
27	血小板膜糖蛋白異常症の病型及び病因診断(血小板無力症又はベルナル・スーリエ症候群に係るものに限る。)	平 9. 9. 1			

平成19年6月30日時点における各先進医療技術に係る費用

平成19年度（平成18年7月1日～平成19年6月30日）

整理番号	技術名	導入時期	①総金額 (円)	②保険外併用 療養費総額 (円)	平均 入院期間
28	焦点式高エネルギー超音波療法(前立腺肥大症に係るものに限る。)	平 9. 11. 1			
29	レーザー応用による齶蝕除去・スケーリングの無痛療法(齶蝕症又は歯周疾患による歯石沈着症に係るものに限る。)	平 9. 11. 1	186,270	94,870	
30	オープンMRを用いた腰椎椎間板ヘルニアに対するヤグレーザーによる経皮的椎間板減圧術(腰椎椎間板ヘルニア(髄核が完全脱出でないヘルニアに限る。))に係るものに限る。)	平10. 1. 1	7,888,358	1,973,140	1.9
31	顎関節鏡視下レーザー手術併用による円板縫合固定術(顎関節脱臼又は顎関節内障のうち円板を中心とした顎関節内部の軟組織に異常を伴うものに限る。)	平10. 1. 1	3,204,830	2,588,450	32.0
32	肺腫瘍のCTガイド下気管支鏡検査	平10. 2. 1	12,971,508	12,173,708	9.7
33	先天性血液凝固異常症の遺伝子診断(アンチトロンビン欠乏症、第Ⅶ因子欠乏症、先天性アンチトロンビンⅢ欠乏症、先天性ヘパリンコファクターⅡ欠乏症又は先天性プラスミノゲン欠乏症に係るものに限る。)	平10. 10. 1	5,328,520	5,132,320	17.7
34	顎関節脱臼内視鏡下手術(習慣性顎関節脱臼に係るものに限る。)	平11. 1. 1	135,910		
35	筋緊張性ジストロフィーのDNA診断	平11. 6. 1			
36	SDI法による抗がん剤感受性試験(がん性腹膜炎又はがん性胸膜炎に係るものに限る。)	平11. 6. 1			
37	栄養障害型表皮水疱症のDNA診断	平11. 7. 1	84,880	3,480	
38	家族性アミロイドーシスのDNA診断	平11. 7. 1	3,207,445	2,717,945	4.1
39	三次元形状解析による顔面の形態的診断(頭蓋、顔面又は頸部の変形性疾患に係るものに限る。)	平11. 9. 1	89,900	25,900	
40	マス・スペクトロメトリーによる家族性アミロイドーシスの診断(トランスサイレチン異常による家族性アミロイドーシスに係るものに限る。)	平11. 9. 1			
41	抗がん剤感受性試験(進行胃がん、大腸がん、食道がん、頭頸部進行がん、進行乳がん、消化器がん、肺がん、がん性胸・腹膜炎、子宮頸・体がん又は卵巣がん(胸水又は腹水例を含む。))に係るものに限る。)	平12. 3. 1	314,507,415	309,467,965	32.4
42	子宮頸部前がん病変のHPV-DNA診断(子宮頸部軽度異形成に係るものに限る。)	平12. 3. 1	1,922,800		
43	不整脈疾患における遺伝子診断(先天性QT延長症候群に係るものに限る。)	平12. 3. 1	49,691,406	47,917,206	10.9
44	腹腔鏡下肝切除術(肝腫瘍(肝部分切除又は肝外側区域切除の適応となる症例)に係るものに限る。)	平12. 7. 1	8,332,309	6,187,099	21.5
45	画像支援ナビゲーション手術(頭頸部若しくは脊髄の腫瘍、血管病変又は脊椎病変に係るものに限る。)	平12. 10. 1	800,140,193	775,147,093	45.7
46	悪性腫瘍に対する粒子線治療(固形がんに係るものに限る。)	平13. 7. 1	2,089,235,184	165,892,184	27.3
47	エキシマレーザーによる治療的角膜切除術(角膜ジストロフィー又は帯状角膜変性に係るものに限る。)	平13. 3. 1	3,838,652	1,229,052	3.3
48	成長障害のDNA診断(特発性低身長症に係るものに限る。)	平13. 3. 1	98,500	2,700	
49	生体部分肺移植術(原発性肺高血圧症、特発性間質性肺炎、気管支拡張症、肺リンパ脈管筋腫症、閉塞性細気管支炎、間質性肺炎、嚢胞性肺繊維症又は肺嚢胞症に係るものに限る。)	平15. 2. 1	186,166,542	152,171,142	115.2
50	耳鼻いんこう科領域の機能障害を伴った顎関節症に対する中耳伝音系を指標とした顎位決定法	平15. 2. 1			
51	門脈圧亢進症に対する経頸静脈肝内門脈大循環短絡術(内視鏡的治療及び薬物治療抵抗性の食道・胃静脈瘤、門脈圧亢進症性胃腸症、難治性腹水又は難治性肝性胸水に係るものに限る。)	平15. 4. 1	35,552,474	29,877,562	39.4
52	乳房温存療法における鏡視下腋窩郭清術(主に乳房温存手術が可能でステージⅠ又はステージⅡの乳がんに係るものに限る。)	平15. 4. 1	7,558,198	7,112,998	10.3

平成19年6月30日時点における各先進医療技術に係る費用

平成19年度（平成18年7月1日～平成19年6月30日）

整理番号	技術名	導入時期	①総金額 (円)	②保険外併用 療養費総額 (円)	平均 入院期間
53	声帯内自家側頭筋膜移植術(一側性反回神経麻痺又は声帯溝症に係るものに限る。)	平15. 7. 1			
54	骨髄細胞移植による血管新生療法(閉塞性動脈硬化症又はパージャージャー病(従来の治療法に抵抗性のもので、フォンタン分類Ⅲ度又は同分類Ⅳ度のものに限る。))に係るものに限る。)	平15. 7. 1	109,277,411	100,609,102	63.8
55	ミトコンドリア病のDNA診断(高乳酸血症その他のミトコンドリア機能低下が疑われる疾患に係るものに限る。)	平15. 9. 1	932,016	749,016	16.2
56	鏡視下肩峰下腔徐圧術(透析アミロイド肩関節症又は腱板断裂、五十肩若しくは関節リウマチその他の原因による肩インピンジメント症候群に係るものに限る。)	平15. 9. 1			
57	神経変性疾患のDNA診断(ハンチントン舞蹈病、脊髄小脳変性症、球脊髄性筋萎縮症、家族性筋萎縮性側索硬化症、家族性低カリウム血症性周期性四肢麻痺又はマックリード症候群その他の神経変性疾患に係るものに限る。)	平15. 9. 1	6,270,880	1,319,090	11.7
58	脊髄性筋萎縮症のDNA診断	平15. 11. 1	60,060	6,960	
59	難治性眼疾患に対する羊膜移植術(再発翼状片、角膜上皮欠損(角膜移植によるものを含む。)、角膜穿孔、角膜化学腐食、角膜癒痕、瞼球癒着(スティーブンス・ジョンソン症候群、眼類天疱瘡、熱・化学外傷癒痕期その他の重症の癒痕性角結膜疾患を含む。)、結膜上皮内過形成又は結膜腫瘍その他の眼表面疾患に係るものに限る。)	平15. 11. 1	8,788,141	7,398,121	12.2
60	固形がんに対する重粒子線治療	平15. 11. 1	1,968,958,110	252,103,110	28.3
61	脊椎腫瘍に対する腫瘍脊椎骨全摘術(原発性脊椎腫瘍又は転移性脊椎腫瘍に係るものに限る。)	平16. 1. 1	50,423,828	32,276,228	71.4
62	31燐-磁気共鳴スペクトロスコピーとケミカルシフト画像による糖尿病性足病変の非侵襲的診断(糖尿病性足病変危険群と考えられる糖尿病患者に係るものに限る。)	平16. 8. 1	2,396,524	2,385,424	90.0
63	特発性男性不妊症又は性腺機能不全症の遺伝子診断	平16. 8. 1			
64	遺伝性コプロポルフィン症のDNA診断	平16. 8. 1			
65	固形腫瘍(神経芽腫)のRNA診断	平16. 8. 1			
66	硬膜外腔内視鏡による難治性腰下肢痛の治療(腰椎椎間板ヘルニア、腰部脊椎管狭窄症又は腰椎手術の実施後の腰下肢痛(保存治療に抵抗性のものに限る。))に係るものに限る。)	平16. 8. 1	13,582,794	8,406,854	8.4
67	重症BCG副反応症例における遺伝子診断(BCG副反応症例又は非定形抗酸菌感染で重症、反復若しくは難治である場合に係るものに限る。)	平16. 8. 1	150,000		
68	自家液体窒素処理骨による骨軟部腫瘍切除後骨欠損の再建	平16. 11. 1	14,967,892	14,122,292	51.0
69	脾腫瘍に対する腹腔鏡補助下脾切除術(インスリーノマ、脾動脈瘤、粘液性嚢胞腫瘍、脾管内腫瘍その他の脾良性腫瘍に係る脾体尾部切除又は核出術に限る。)	平16. 11. 1	18,477,704	14,904,204	21.6
70	低悪性度非ホジキンリンパ腫の遺伝子診断(マントル細胞リンパ腫の補助診断として用いるものに限る。)	平16. 11. 1	5,252,440	5,099,440	17.2
71	悪性脳腫瘍に対する抗がん剤治療における薬剤耐性遺伝子解析	平16. 11. 1	23,213,980	23,001,880	60.0
72	高発がん性遺伝性皮膚疾患のDNA診断(基底細胞母斑症候群又はカウデン病に係るものに限る。)	平16. 11. 1			
73	Q熱診断における血清抗体価測定及び病原体遺伝子診断(急性期又は慢性期のQ熱に係るものに限る。)	平16. 11. 1	466,930	127,020	
74	エキシマレーザー冠動脈形成術(従来の経皮的冠動脈形成術による治療が困難なもの、慢性完全閉塞のもの又はこれに準ずるものに係るものに限る。)	平16. 11. 1	86,094,309	70,983,906	11.4

平成19年6月30日時点における各先進医療技術に係る費用

平成19年度（平成18年7月1日～平成19年6月30日）

整理番号	技術名	導入時期	①総金額 (円)	②保険外併用 療養費総額 (円)	平均 入院期間
75	活性化Tリンパ球移入療法(原発性若しくは続発性の免疫不全症の難治性日和見感染症又は慢性活動性EBウイルス感染症に係るものに限る。)	平16. 11. 1			
76	抗がん剤感受性試験(CD-DST法)(消化器がん、乳がん、肺がん又はがん性胸・腹膜炎に係るものに限る。)	平16. 11. 1	359,907,464	343,233,064	29.6
77	家族性アルツハイマー病の遺伝子診断	平16. 12. 1			
78	膀胱尿管逆流症に対する腹腔鏡下逆流防止術(膀胱尿管逆流症(国際分類グレードVの高度逆流症を除く。))に係るものに限る。)	平16. 12. 1	815,710	335,710	8.0
79	中枢神経白質形成異常症の遺伝子診断	平16. 12. 1	254,080	110,080	
80	三次元再構築画像による股関節疾患の診断と治療	平16. 12. 1	192,927,074	180,140,558	30.9
81	泌尿生殖器腫瘍の後腹膜リンパ節転移に対する腹腔鏡下リンパ節郭清術(泌尿生殖器腫瘍のリンパ節転移例又は画像上リンパ節転移が疑われるものに限る。)	平17. 2. 1	10,602,199	7,484,739	21.8
82	HLA抗原不一致血縁ドナーからのCD34陽性造血幹細胞移植(HLA適合ドナーがないために造血幹細胞移植が受けられない小児のがん、難治性造血障害又は免疫不全症に係るものに限る。)	平17. 2. 1			
83	頸椎椎間板ヘルニアに対するヤグレーザーによる経皮的椎間板減圧術(CT透視下法)(頸椎椎間板ヘルニア(画像診断上椎間板繊維輪の破綻していないヘルニアであって、神経根症が明らかであり保存治療に抵抗性のもの(後縦靭帯骨化症、脊椎管狭窄状態又は脊椎症状のあるものを除く。))に係るものに限る。)	平17. 2. 1			
84	活性化血小板の検出(急性期若しくは慢性期の脳梗塞、睡眠時無呼吸症候群又は心筋梗塞その他の動脈血栓症に係るものに限る。)	平17. 4. 1			
85	ケラチン病の遺伝子診断(水泡型魚鱗癬様紅皮症又は単純型表皮水泡症その他の遺伝子異常に係るものに限る。)	平17. 4. 1			
86	隆起性皮膚線維肉腫の遺伝子診断	平17. 4. 1	774,997	761,297	33.0
87	末梢血幹細胞による血管再生治療(慢性閉塞性動脈硬化症又はパージャーマン病(重篤な虚血性心疾患又は脳血管障害を有するものを除く。))に係るものに限る。)	平17. 6. 1	18,992,705	16,008,262	29.6
88	末梢血単核球移植による血管再生治療(慢性閉塞性動脈硬化症又はパージャーマン病(従来の内科的治療又は外科的治療が無効であるもの限り、三年以内の悪性新生物の既往又は未治療の糖尿病性網膜症のあるものを除く。))に係るものに限る。)	平17. 6. 1	38,887,902	34,184,162	41.2
89	グルタミン受容体自己抗体による自己免疫性神経疾患の診断(ラスマッセン脳炎、小児の慢性進行性持続性部分てんかん又はオプソクローヌス・ミオクローヌス症候群に係るものに限る。)	平17. 9. 1	9,886,708	9,225,208	29.5
90	腹腔鏡下広汎子宮全摘出術(早期子宮頸がん(臨床進行期Ibまでのものに限る。))に係るものに限る。)	平17. 9. 1	1,022,790	482,590	17.0
91	一絨毛膜性双胎妊娠において発症した双胎間輸血症候群に対する内視鏡的胎盤吻合血管レーザー焼灼術(双胎間輸血症候群に罹患した一絨毛膜性双胎妊娠の症例(妊娠十六週から二十六週に限る。))に係るものに限る。)	平17. 9. 1	83,724,535	62,053,635	42.9
92	カラー蛍光観察システム下気管支鏡検査及び光線力学療法(肺がん又は気管支前がん病変に係るものに限る。)	平18. 10. 1	5,581,820	5,252,820	17.8
93	先天性銅代謝異常症の遺伝子診断(ウィルソン病、メンケス病又はオクシピタルホーン症候群に係るものに限る。)	平18. 11. 1			
94	超音波骨折治療法(四肢の骨折(治療のために手術中に行われるものを除く。))のうち、観血的手術を実施した場合に限る。)	平18. 11. 1	70,561,784	61,803,570	39.7
95	眼底三次元画像解析(黄斑円孔、黄斑前膜、加齢黄斑変性、糖尿病黄斑症、網膜剥離又は緑内障に係るものに限る。)	平19. 1. 1	160,538,558	137,986,403	0.4
98	X線CT診断装置及び手術用顕微鏡を用いた歯根端切除手術(難治性根尖性歯周炎であって、通常の根管治療では効果が認められないものに限る。)	平19. 4. 1			
201	内視鏡下頸部良性腫瘍摘出術(頸部良性腫瘍に係るものに限る。)	平11. 6. 1	30,928,619	23,396,290	9.2

平成19年6月30日時点における各先進医療技術に係る費用

平成19年度（平成18年7月1日～平成19年6月30日）

整理番号	技術名	導入時期	①総金額 (円)	②保険外併用 療養費総額 (円)	平均 入院期間
202	悪性黒色腫におけるセンチネルリンパ節の遺伝子診断	平15. 4. 1	45,683,537	41,470,757	27.9
203	腫瘍性骨病変及び骨粗鬆症に伴う骨脆弱性病変に対する経皮的骨形成術(転移性脊椎骨腫瘍、骨粗鬆症による脊椎骨折又は難治性疼痛を伴う椎体圧迫骨折若しくは臼蓋骨折に係るものに限る。)	平15. 7. 1	169,164,488	111,914,213	11.0
204	悪性黒色腫又は乳がんにおけるセンチネルリンパ節の同定と転移の検索	平15. 9. 1	634,149,749	572,955,776	11.4
205	カフェイン併用化学療法(骨肉腫、悪性線維性組織球腫、滑膜肉腫又は明細胞肉腫その他の骨軟部悪性腫瘍に係るものに限る。)	平16. 1. 1	147,004,752	145,571,252	100.0
206	胎児尿路・羊水腔シャント術(ブルーナー・ベリー症候群その他の胎児閉塞性尿路疾患に係るものに限る。)	平16. 12. 1			
207	筋過緊張に対するmuscle afferent block(MAB)治療(ジストニア、痙性麻痺その他の局所の筋過緊張を呈する病態に係るものに限る。)	平16. 11. 1	3,436,754	3,398,954	19.0
208	胸部悪性腫瘍に対するラジオ波焼灼療法(胸部悪性腫瘍(従来の外科的治療法の実施が困難なもの又は外科的治療法の実施により根治性が期待できないものに限る。))	平16. 12. 1	59,704,500	40,180,200	8.6
209	腎悪性腫瘍に対するラジオ波焼灼療法(腎悪性腫瘍(従来の外科的治療法の実施が困難なもの又は外科的治療法の実施により根治性が期待できないものに限る。))	平16. 12. 1	5,348,658	3,794,658	6.1
210	樹状細胞及び腫瘍抗原ペプチドを用いたがんワクチン療法(腫瘍抗原を発現する消化管悪性腫瘍(食道がん、胃がん又は大腸がん)、進行再発乳がん又は原発性若しくは転移性肺がんに係るものに限る。)	平17. 2. 1	12,427,660	2,702,160	1.0
211	内視鏡下甲状腺がん手術(手術の実施後、予後の良い甲状腺乳頭がんに係るものに限る。)	平17. 2. 1	2,369,570	1,669,070	7.6
212	骨腫瘍のCT透視ガイド下経皮的ラジオ波焼灼療法(転移性骨腫瘍で既存の治療法により制御不良なもの又は類骨腫(診断の確実なものに限る。))に係るものに限る。)	平17. 2. 1	792,600	318,200	2.8
213	下肢静脈瘤に対する血管内レーザー治療法(一次性下肢静脈瘤に係るものに限る。)	平17. 2. 1	16,308,466	3,370,620	1.0
214	胎児胸腔・羊水腔シャントチューブ留置術(特異性又は既知の胎児先天性感染による胸水を主たる徴候とする非免疫性胎児水腫症(NIH F)例であって、胸腔穿刺後一週間に降に胸水の再貯留が認められるもの(妊娠二十週から三十四週未満に限る。))に係るものに限る。)	平17. 4. 1	4,611,256	4,227,654	33.3
215	早期胃がんに対する腹腔鏡下センチネルリンパ節検索	平17. 4. 1	16,947,260	16,630,860	24.5
215	副甲状腺内活性型ビタミンD(アナログ)直接注入療法(二次性副甲状腺機能亢進症に係るものに限る。)	平17. 6. 1			
217	自己腫瘍(組織)を用いた活性化自己リンパ球移入療法(がん性の胸水、腹水又は進行がんに係るものに限る。)	平10. 2. 1	76,170,400	31,271,714	8.0
218	自己腫瘍(組織)及び樹状細胞を用いた活性化自己リンパ球移入療法(がん性の胸水、腹水又は進行がんに係るものに限る。)	平 8. 11. 1	40,360,782	28,068,122	14.5

※ 空欄については実績報告無し

※ 整理番号『2XX』と表示されている部分については、「時限的先進医療」を示す。